

運転者教育や熱中症対策など

積極的に情報交換

OCHIS「第7回両輪会」

【大阪】大阪ヘルスケアネットワーク普及推進機構(OCHIS)は14日、大阪弥生会館(大阪市北区)で、「第

7回安全・健康を推進する協議会(両輪会)」を開催。両輪会の今後の運営について協議したほか、「安全対策編」と「健康管理編」の2テーマでディスカッションが行われた。

冒頭、両輪会代表の作本貞子氏(OCHIS理事)は、「事業者様が日々感じているような悩みなどを情報交換しながら会社を持ち帰り、すぐに活用できる気軽な情報交換の場があればという思いで立ち上げた」と、平成



あいさつする作本代表

20年4月に設立した両輪会のコンセプトなどに触れ、「2年前には想定できなかった課題や、(会社の規模による)ニーズの違いのようなものが出ており、従来の方向性を踏まえながら少しアレンジした運営方法をご提案させていたきたい」とあいさつした。

今後の事業内容としては、従来からの両輪会の定期開催(年3回程度)や参加事業者間の情報交換をはじめ、成功事例集の発信、支援ツールの共同開発や購入、月1回以上のメルマガでの情報提供、ホームページや支援ツールでの活動公開や

情報提供を新たに加えた。引き続き、「事故を起こしたドライバーへの教育方法」について峰森吉和氏(大阪センコー運輸整備)が「メタルヘルス対策パート2」について、黒田悦子氏(OCHIS保健師)がコーディネー

ターを務め、参加者と活発にディスカッションが行われた。

さらに、「熱中症対策のアドバイス」や「支援ツールの紹介」「情報提供テーマの募集」について情報交換。協議会終了後には懇親会が開かれた。

(山田克明)